

第126号

酪農とちぎ



「キャラクター^{えみ}笑味ちゃん」



みんなのよい食プロジェクト

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 令和5年乳代集計結果について
- 3～4 ページ 東西南北（各支所）
- 5～6 ページ 部課だより（業務部）
- 7 ページ 部課だより（生乳受託課）
- 8 ページ 理事会だより、お知らせ、市場成績
- 折 込 酪農とちぎ機構図



令和5年乳代集計結果について

1月から12月の乳代集計結果についてお知らせします。

生乳生産実績

令和5年の年間乳量は25万t割れとなり、24万9328tとなりました。需給バランスの悪化による生産抑制や、飼料・資材高騰などの影響が出ており、出荷戸数は

表1 年間乳量と出荷戸数

	年間乳量(t)	12月出荷戸数(戸)	1戸当り乳量(t/戸)
平成14年	213,002	738	289
平成15年	210,263	722	291
平成16年	213,341	705	303
平成17年	210,244	681	309
平成18年	220,457	653	338
平成19年	217,429	621	350
平成20年	216,870	593	366
平成21年	217,355	570	381
平成22年	206,590	546	378
平成23年	200,643	529	379
平成24年	210,197	521	403
平成25年	214,584	491	437
平成26年	221,612	476	466
平成27年	234,508	461	509
平成28年	237,879	441	539
平成29年	236,444	423	559
平成30年	231,863	409	567
令和元年	232,481	389	598
令和2年	235,882	372	634
令和3年	250,815	353	711
令和4年	258,611	331	781
令和5年	249,328	311	802

前年同期より20戸減少しました。その結果、1戸当りの乳量については800tに達しました(表1)。日量は25万トン超を記録した昨年を全体的に下回り、一昨年と比較すると後半に減速していることが読み取れます。廃業による影響が生産回復の鈍化につながっていると思われる(図1)。

乳価

令和4年11月出荷分より飲用・発酵乳向けで10円/kgの値上げとなりましたが、令和5年8月にも10円/kgの値上げがあり、1年間で計20円上がるのは現行制度下では初めての事となりました。令和5年4月には加工向けでも10円/kgの引き上げもあり、9月期では前年差最大の19・5円を記録しました。乳価値上げにより収支のバランスは改善されていますが、酪農廃業による出荷戸数の減少は統

いており、担い手も含め酪農経営・生乳生産基盤安定に向けた対策が求められています。

乳代追加払い(事業分量配当、需要期出荷奨励金、需要期優良奨励金、乳代精算払い、集送乳業務委託費精算払い)は総額でおよそ3億円となりました。前年においては目的積立金を取り崩し対策を講じた為大きく膨らみ7億4500万円となりましたが、令和5年分としてはこの金額となりました。乳代追加払いを年間乳量で除すると1・2円/kgです。出資配

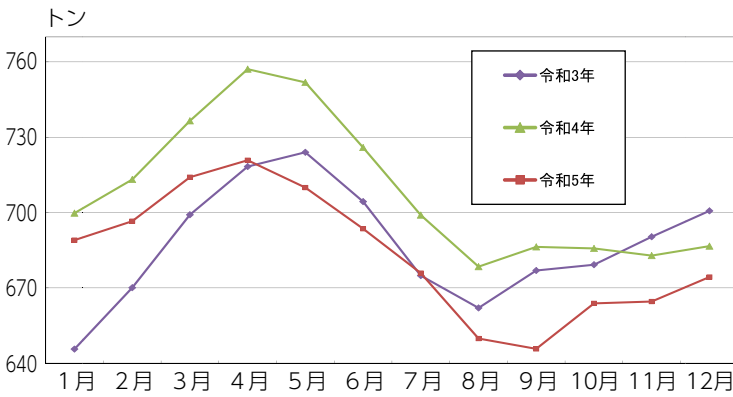


図1 日量の推移

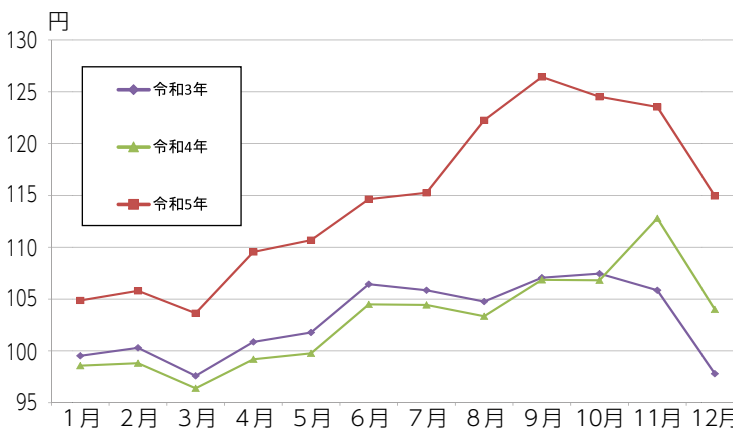


図2 支払乳価(手数料等控除後、乳質加算前)

当は前述の通り目的積立金を取り崩し、赤字決算となった結果無配となりました。その他の収入は、昨年は国、県から飼料高騰の緊急対策支援もあり5億7200万円増の10億8678万円となりましたが、今年には更に1億3400万円増の12億2116万円となりました。



東西南北

那須高原支所

ボウリング大会96名参加！

2月6日、那須高原支所活動推進協議会（長島正範会長）主催による第19回ボウリング大会が、黒磯ボウル（那須塩原市）の会場において開催されました。

当日は、組合員とその家族・スタッフなどが参加し、ストライクやスパアなどを取ると握手やハイタッチなど、和やかな雰囲気の中で2ゲームが行われ、各レーンともに楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

終了後は、榊原会館に会場を移し、臼井組合長より酪農情勢を含めた挨拶をいただき、懇親会が行われました。会場内では、近況等情報交換をしながら、おいしい食事をいただき、各テーブルから笑い声が絶えない懇親会となりました。表彰式では、関係団体から協賛

頂いた沢山の賞品が入賞者に贈られました。懇親会も大盛況のうちに閉会となり、参加された方には明日への活力に繋がる楽しい一日となったことと思います。

なお、各部の順位は次の通りです。

●団体の部

- 優勝 中部班
- 準優勝 高林支部
- 第三位 大田原地域



黒磯ボウルにて

●個人の部

男性

- 優勝 人見 泰弘（青木支部）
- 準優勝 桃井 一嘉（高久班）
- 第三位 福田 隼人（大田原地域）

女性

- 優勝 人見 礼子（高林支部）
- 準優勝 今井 博子（青木支部）
- 第三位 石塚美重子（くろいそ支部）

那須塩原市長へ要望書提出

1月9日、黒磯地域酪農組合（石塚政隆組合長）の役員4名が那須塩原市役所を訪問し、渡辺美知太郎市長へ牛乳製品消費拡大に関する要望書を提出しました。訪問にあたり、「特選那須牛乳」を市長に贈呈し出席者一同により牛乳で乾杯をいたしました。

対談には渡辺市長を始め、副市長、産業観光部長にも同席していただき、牛乳産出額全国2位のまち那須塩原の持続可能な酪農業を実現するために更なる消

費拡大への協力について要望いたしました。要望内容については①市内にある高等学校に牛乳の自動販売機の設置②運動公園に牛乳の自動販売機の設置③牛乳及び乳製品の商品券作成及び商品券への補助④各店舗で販売している牛乳及び乳製品を購入した際のポイント（特典）の付与⑤小・中学校の社会科見学等への対応協力（酪農理解醸成）⑥粗飼料高騰対策支援事業の継続の6点について要望し、



市長に要望書を提出



それらについて意見交換を行いました。市長からは「高校生には沢山牛乳を飲んでいただきたいし、先般、市で主催した栃木県内高等学校牛乳製品料理コンクールでは6校で9チームの生徒が出場してくれて、メインディッシュからデザートまで色々な料理を出してくれました。どの料理もレベルが高く、このような取り組みを今後も行っていきたい。」との話がありました。

今後も地域組合としても那須塩原市と連携協力しながら、消費拡大活動へ取り組んでいきたいと思っています。

宇都宮支所

全酪連酪農技術研究所を視察

3月22日、芳賀町酪農組合（黒崎浩組合長）では、関係者を含め10名参加のもと福島県矢吹町にある全酪連酪農技術研究所の「パイロットファーム」を視察してきました。

全酪連では8年前より、「若齢

預託牧場」を稼働しており、生後間もない雌子牛の哺育段階から預託牛を受け入れています。今回視察したパイロットファームは昨年6月から稼働しており、若齢預託牧場の飼養密度や環境ストレスなどの環境改善のために増築された牛舎です。牛舎の北側半分は個別ペンが64床あり、個別自動哺乳ロボット「カーフレール」で個別飼養されている子牛に自動で多回数哺乳しています。南側半分は20頭の群が8区画ある群飼スペースで、4基の自動哺乳機で管理しています。

基本的な管理方法としては、集畜された子牛は導入ペンで一定期間（約5日間）飼養します。その後、健康な子牛は個別ペンに移動し、カーフレールで哺乳します。従来の哺乳ロボットは子牛が哺乳ステーションを訪問するものでした。カーフレールは機械が移動して、個別管理されている子牛のもとへ訪問し哺乳を行うため、哺乳初期の多頭飼養による感染症のまん延リスクを低減します。順調に

増乳できている子牛は導入から約3週間後には群飼に移動し、従来の哺乳ロボットで管理します。その後、生後75日齢で離乳し、3ヶ月齢ほどで育成舎へ移動します。4ヶ月齢以降は北海道へ上牧します。

参加者は経営の参考にすると、積極的な質問しながら見学をされています。最先端の哺乳牛舎を見学でき、有意義な研修になりました。視察後は、

那須町のレストラン「あ・かうは」で歓談しながら会食し、親睦を深められました。



自動哺乳機



パイロットファーム内部

部課だより

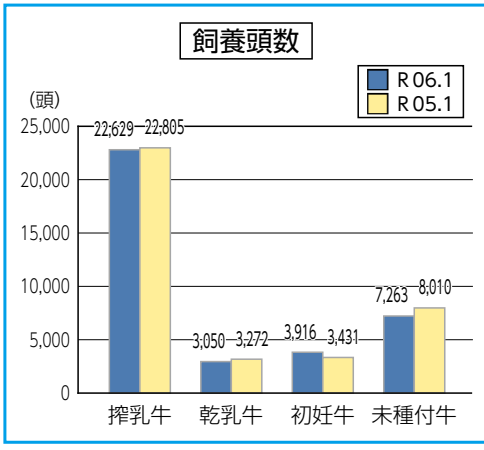
業務部

● 乳牛飼養動態調査

1月1日現在の乳牛飼養動態調査の結果がまとまりましたので、ご報告します。

1. 出荷者戸数について

前年1月と比較すると酪農中止は23戸（団体及び部分委託を除く）となり、出荷者数は前年同月比3.6%減の306戸となりました。酪農中止（廃業）理由は、高齢や

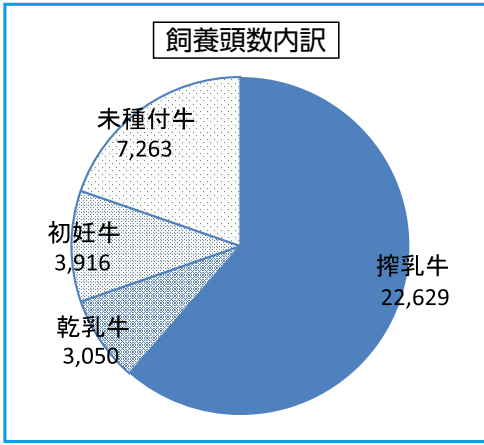


2. 飼養頭数について

飼養頭数の内訳は、経産牛は前年1月比1.5%減少し、2万5679頭、自家育成牛は前年比0.3%増加し8211頭、外部預託牛は前年比8.9%減少し、2968頭でした。また、1戸あたりの平均飼養頭数は6.5頭増加し、120.5頭で前年に引き続き増加しております。

なお、搾乳牛は前年比0.8%

後継者がいない5戸、経営不振4戸、他業種への転換5戸、死亡病気療養その他9戸でありました。なお、酪農中止23戸の出荷中止時の合計飼養頭数は329頭でした。



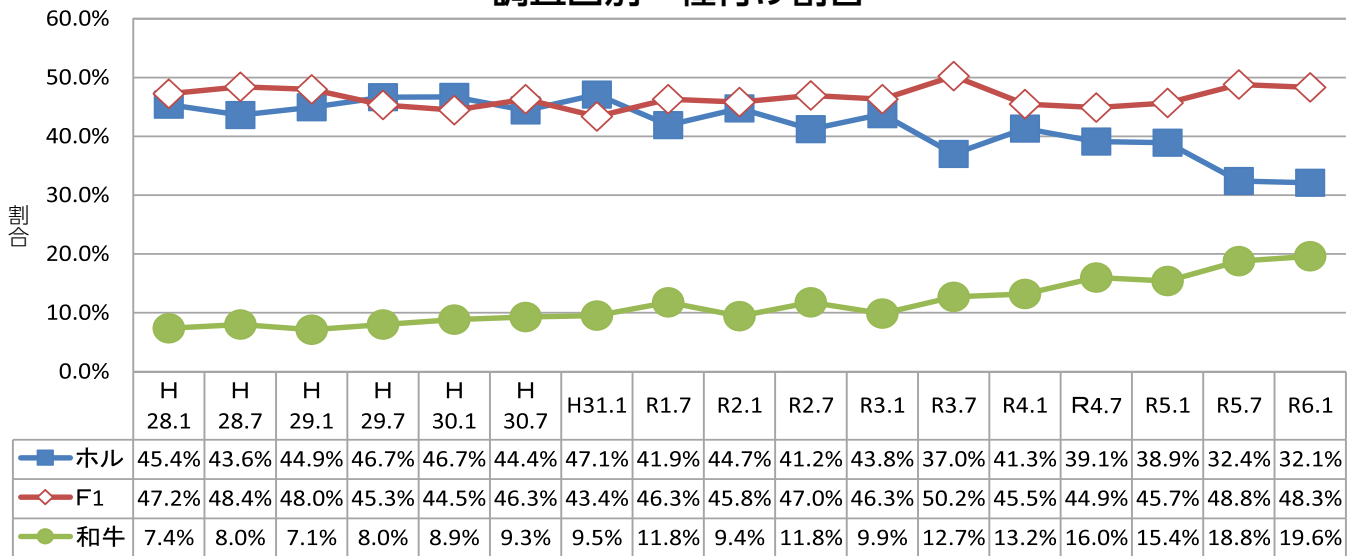
令和6年1月度 乳牛飼養動態調査表

(令和6年1月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数								1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛頭数	月別分娩予定頭数 (カッコ内は内数で判別精液頭数、また下段は令和5年1月の実績頭数)								
			経産牛			自家育成牛		外部預託牛		合計			育成牛保有率(%)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
			搾乳	乾乳	小計	初妊牛	未種付牛	初妊牛	未種付牛					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
那須高原支所	R06.1 (構成比)	198	15,578	1,977	17,555	1,858	3,253	718	1,481	24,865	29.40%	125.6	1,015	1,389	1,262	1,310	1,047	887	923	1,275	8,093
			62.7%	8.0%	70.6%	7.5%	13.1%	2.9%	6.0%	100.0%				(148)	(154)	(144)	(114)	(86)	(90)	(147)	(883)
	増減	▲9	▲90	▲143	▲233	198	▲185	66	▲307	▲461	▲0.37%	3.2	▲44	▲114	37	▲22	▲86	▲250	▲374	▲197	▲1,006
宇都宮支所	R06.1 (構成比)	108	7,051	1,073	8,124	1,096	2,004	244	525	11,993	32.26%	111.0	169	691	625	639	471	413	446	704	3,989
			58.8%	8.9%	67.7%	9.1%	16.7%	2.0%	4.4%	100.0%				(49)	(63)	(53)	(40)	(42)	(34)	(41)	(322)
	増減	▲14	▲86	▲79	▲165	187	▲173	34	▲82	▲199	0.25%	11.1	49	▲1	31	59	▲36	▲57	▲189	▲85	▲278
合計	R06.1 (構成比)	306	22,629	3,050	25,679	2,954	5,257	962	2,006	36,858	30.33%	120.5	1,184	2,080	1,887	1,949	1,518	1,300	1,369	1,979	12,082
			61.4%	8.3%	69.7%	8.0%	14.3%	2.6%	5.4%	100.0%				(197)	(217)	(197)	(154)	(128)	(124)	(188)	(1,205)
	増減	▲23	▲176	▲222	▲398	385	▲358	100	▲389	▲660	▲0.16%	6.4	5	▲115	68	37	▲122	▲307	▲563	▲282	▲1,284



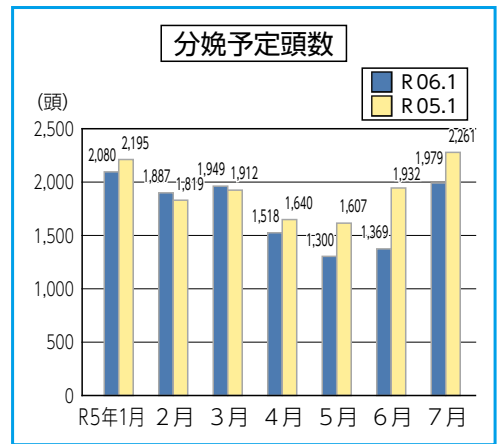
調査回別 種付け割合



減少の2万2629頭、乾乳牛は6・8%減少の3050頭であり、育成牛（自家・外部預託含む）の保有率は、0・16%減少し30・33%で合計1万1179頭となりました。

3. 分娩頭数について

令和6年7月までの分娩予定頭数は、前年同時期分娩実績に比べ1284頭減少し、1万2082頭となっています。前年同期分と比較し、2、3月分娩予定は若干増加傾向にありますが、それを除く月は減少、特に5〜7月にかけて1152頭の減少となる見込みです。ほか、外部導入は1691頭予定されています。また、上期分娩予定頭数は7月が多く、泌乳ピークは8月以降となる



ので、暑熱対策、乾乳管理をしっかり行い、良質生乳生産に努めてください。

4. 授精割合

令和5年7月から12月の品種別分娩実績は、ホル種は前年同期より17・8%減少し4269頭（分娩実績構成比32・1%。以下同じ。）となり、交雑種は5・1%増加し、6412頭（48・3%）となりました。また、和牛ETについては26・1%増加し、2598頭（19・6%）となりました。ホル種種付け割合が減少傾向の一方、和牛ETの利用が増加傾向となっています。

● 関東甲信越枝肉共励会開催

2月10日、酪肉経営技術研究会主催による関東甲信越乳用種経産肥育牛枝肉共励会が開催されました。当日は45頭の出品があり、当組合から13頭の出品がありました。今回は平均枝肉重量445kg（基準未達は除く）、平均歩留り69・8%、ホルスタイン種で0・6%の発生率であるB-3等級が2頭もあり、内容の充実した共励会となりました。

本組合では3名の方が受賞し、大変大きな成果を残す結果となりました。受賞された皆様、大変おめでとうございます。

- 優秀賞1席：(株)佐藤牧場さん
- 優秀賞2席：北向 秀樹さん
- 優良賞1席：興野 一美さん



優秀賞1席 (株)佐藤牧場
出品牛 (B-3等級)

生乳受託課

令和6年2月度の組合生乳生産量は、2万0212t（前年比100.1%）となりました。各支所の受入乳量は、那須高原支所1万4376t（前年比100.7%）、宇都宮支所5836t（同98.4%）となり、出荷者数は前年同月より23戸減の305戸（内、学校1）となりました。

2月度の組合平均乳質は、脂肪率4.04%（前年差▲0.03%）、無脂固形分率8.90%（同±0.00%）、体細胞数は19.07万（同+0.55万）の成績となりました。関東生乳販連の2月の総受託販売乳量は8万4046t（前年比100.5%）となり、令和4年10月以来16ヶ月ぶりに前年を上回る中、用途別販売数量では、飲用向けが前年比97.6%に留まったことから、脱粉・バター等向けが前年比122.3%と2ヶ月連続で前年を上回る結果となりました。

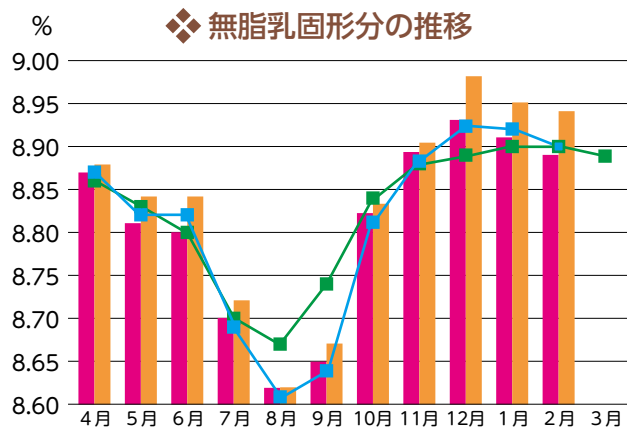
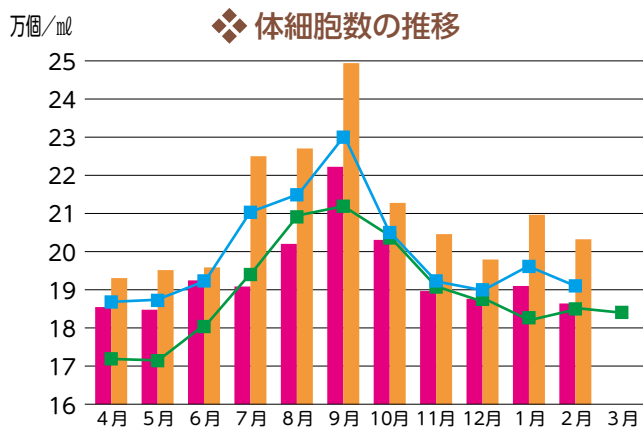
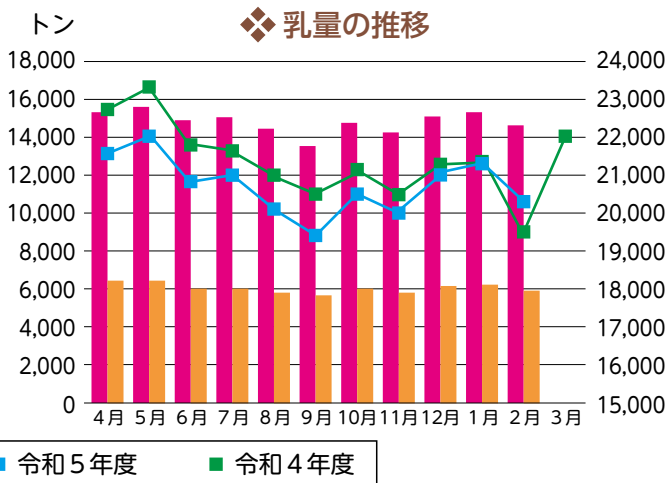
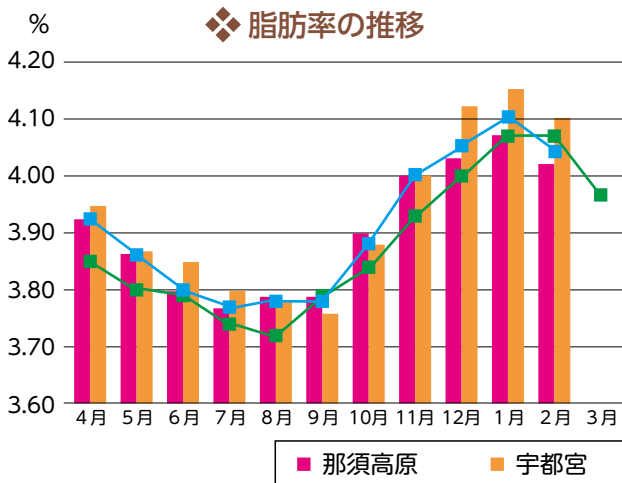
全国の生産量は99.9%、都府県は98.8%と伴に19ヶ月連続で前年を下回りましたが、北海道は前年比100.8%と19ヶ月ぶり

令和5年度 関東生乳販連用途別販売数量

(単位: kg・%)

用途	2月期実績	前年同期実績	前年比		2月末実績(累計)	前年同期実績	前年比	
				閏年修正				閏年修正
飲用牛乳等向け	61,651,852	60,970,341	101.1	97.6	704,309,913	719,841,269	97.8	97.6
(うち学校を除く飲用)	50,670,634	49,688,592	102.0	98.5	598,201,991	612,842,283	97.6	97.3
(うち学校向け)	10,981,218	11,281,749	97.3	94.0	106,107,922	106,998,986	99.2	98.9
はっ酵乳等向け	10,508,728	10,217,373	102.9	99.3	126,316,019	129,320,273	97.7	97.4
脱粉・バター等向け	10,811,781	8,538,101	126.6	122.3	84,749,663	95,137,418	89.1	88.8
生クリーム等向け	962,737	908,672	105.9	102.3	11,017,667	11,279,584	97.7	97.4
チーズ向け	111,816	105,749	105.7	102.1	1,282,334	1,294,144	99.1	98.8
総受託販売乳量	84,046,914	80,740,236	104.1	100.5	927,675,596	956,872,688	96.9	96.7
脱粉・バター等向け比率	12.86	10.57	-	-	9.14	9.94	-	-

の前年越えとなりました。
(注)前年比はいずれも閏年修正後
なお、令和6年2月度の生産量・乳質、及び関東生乳販連の用途別販売数量は別表の通りです。



理事会だより

1月度理事会 (1月31日)

報告事項

- 1 業務経過報告について
- 2 組合資金貸付について
- 3 組合プール乳価について
- 4 特別管理未収金の報告について
- 5 乳牛飼養動態調査結果について
- 6 子会社の第3四半期事業実績について
- 7 関東生乳販連情報について

協議事項

- 1 12月度及び第3四半期事業実績について
- 2 外部団体等の役員推薦について
- 3 固定資産に係るふれあい牧場貯水池の雨水排水工事について

2月度理事会 (2月29日)

報告事項

- 1 組合員の加入について
- 2 業務経過報告について
- 3 組合資金貸付について
- 4 組合プール乳価について
- 5 役員報酬等審議会答申について
- 6 関東生乳販連情報について

協議事項

- 1 1月度事業実績について
- 2 購買事業配送運賃改定について
- 3 令和6年度機構改革(案)について
- 4 就業規則等の一部改定について
- 5 特別管理未収金に関わる具体対応の改正について

- 6 第23回酪農まつり実施要領について
- 7 酪農ヘルパー傷病時利用互助会規約の改正について
- 8 固定資産の取得について

3月度理事会 (3月29日)

報告事項

- 1 業務経過報告について
- 2 組合資金貸付について
- 3 組合プール乳価について
- 4 職員人事について
- 5 関東生乳販連情報について

協議事項

- 1 2月度事業実績について
- 1 令和6年度事業運営に関する理事会附議事項について
- (1) 借入金の最高限度について
- (2) 当座借越限度設定について
- (3) 一組合員に対する貸付金の最高限度額及び貸付利率の最高限度について
- 3 令和6年度乳代手数料及び事業賦課金の設定(暫定)について
- 4 令和6年度生乳需給安定化対策方針(案)について
- 5 令和6年度生乳出荷奨励実施要領(案)について
- 6 令和6年度拠出金等について
- 7 令和6年度配合飼料・粗飼料及びTMR飼料供給量別利用奨励措置(案)について
- 8 令和6年度事業計画及び収支計画(案)及びアグリサポート事業計画及び収支計画(案)について
- 9 第7期中期構想(案)について
- 10 第23回通常総会の開催について
- 11 組合と理事との契約について
- 12 固定資産の取得について(追認)

お知らせ



《職員人事》

定年退職者 (3月31日付)

総務部総務課長 住田 裕子

退職者 (1月31日付)

経済部生乳受託課長補佐 君島三枝子

退職者 (3月31日付)

業務部指導企画課(嘱託) 大垣 幸子

那須高原支所業務推進課(嘱託) 露久保芳広

総務部総務課(臨時) 仲山 優子

新規採用者 (4月1日付)

業務部 指導企画課 小林 安柚

那須高原支所 業務推進課 中村美寿々

経済部生乳受託課 宇都宮検査室 尾崎那々未

総務部総務課(臨時) 大橋 秀美

那須高原CS(臨時) 小倉 一人

定期異動 (4月1日付)

別添「酪農とちぎ機構図」

《職員募集》

令和7年4月1日採用の職員を募集しております。新卒・既卒は問いません。ホームページに詳細が掲載されておりますのでご案内いたします。

<https://www.rakunoutochigi.com>

QRコードを読み込むと

求人票をPDFにてご覧いただけます。



2月度 ホクレン初妊牛市場成績 (単位:千円 (税込))

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	(そのうちET牛)		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
十勝	2月1日	654	623	95.3%	682	158	143	748
根室	2月8日	329	317	96.4%	683	79	73	709
豊富	2月9日	358	344	96.1%	579	15	15	602
釧路	2月14日	317	304	95.9%	660	50	45	712
十勝	2月15日	632	611	96.7%	751	136	133	790
北見	2月28日	405	371	91.6%	626	48	39	691
根室	2月29日	465	445	95.7%	684	106	105	742
合計		3,160	3,015	95.4%	666	592	553	713
前月		2,222	2,187	98.4%	614	357	351	661
前年同月		2,904	2,745	94.5%	560	438	409	702

3月の初妊牛動向といたしまして、5月~6月中旬中心の分娩となりますが、昨年の猛暑の影響で特に5月分娩の資源が不足しております。それに加え、道内での生産意欲も増していることから自家保留も増え、販売向けの頭数自体も減少傾向にあります。また、道内外の需要が高まり相場は先月から更に上げ基調を見込んでおります。このような状況のため導入を希望される方は、早めのご注文をよろしくお願いいたします。

2月度 県内家畜市場成績 (単位:円 (税込))

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
那須(2/25)	F1雄	60	59	63	155,100	18,700	103,363
	F1雌	64	64	60	126,500	110	67,733
	ホルス雄	34	34	70	94,600	110	52,091

今回の初生牛相場は前号に報告した11月の平均価格と比較しますとホルス雄は12月を境に弱含みに転じましたが、3月に入りやや強含みに推移しています。また、F1雄は11月から2月の平均価格はほぼ横ばいでしたが、3月に入り強含みへ転じました。F1雌は11月の平均価格からやや強含みで推移しています。このことから今後も注視して価格を見守る必要があると考えられます。

